質問事項　「沼田市の農業の未来を考える」

升形小学校　６年　大竹（おおだけ）　翔太（しょうた）（４番）

　ぼくは５年生の総合学習で「米作り」を体験し農作業の大変さを実感しました。大変さが分かると農産物の味は感動的で、給食でも地産地消の材料で作られた献立が出るとうれしくなり、地元の農産物はおいしい安全という思いが強くなりました。

　沼田市では農業が盛んだと思っていたのですが、農業従事者が年々減少していることや従事者の高齢化が問題になっていることを知りました。

　自分達の身の回りを見てみても、作物が作られずに荒れ地になってしまった土地が増えていること、農作業している人が高齢の人であることなどに気付きました。

　そこで、沼田の農作物を守るための２つの取組を知りたいと思いました。まず、少子高齢化による農業従事者の減少に対する市の取組についてです。次に、荒れ地の活用方法です。増え続ける休耕地を減らしたり新しい使い方を考えたりする取組についてです。

　大好きな沼田市の農業の未来について知りたいと思います。